

防火ガバリ

GTI-FF

取付け要領書

⚠ 注意事項

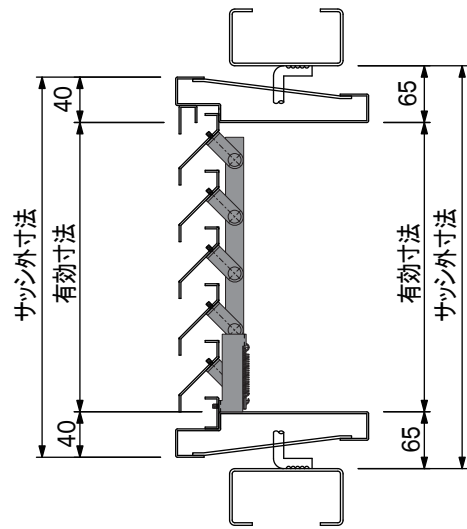
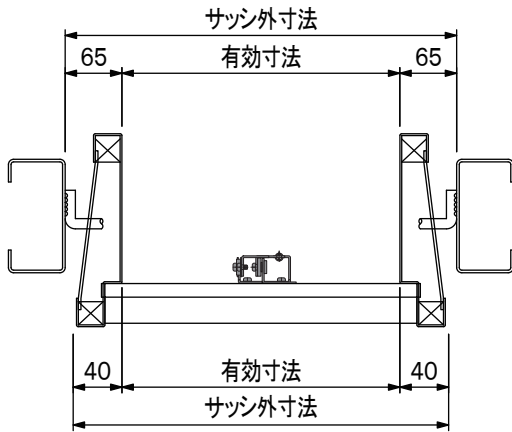
- ・ 施工前の商品は直射日光の当たらない場所へ保管してください。一定温度を超えると温度ヒューズが外れる恐れがあります。
- ・ 保管の際には、長時間の横積み状態はなるべく避けてください。変形の原因となります。
- ・ 取付けに使用するネジ類は付属品を使用してください。
- ・ 取付ネジは確実に締め付けてください。ネジが緩いと脱落の原因となります。
- ・ ガラリの羽根の間に指を入れないでください。指を挟んで思わぬ怪我につながります。
- ・ 組み立ててある商品は分解しないでください。故障の原因となります。
- ・ 掃除の際には柔らかい布やスポンジなどを使い、金属タワシや金ペラなどの使用は避けてください。
- ・ 金属ヘラやタワシなどで擦ると表面が傷つき、腐食の原因になります。また、塩分・酸・アルカリなどが付着すると腐食の原因になりますので、すぐにふき取ってください。

04102-A0F-003-01
2023/09

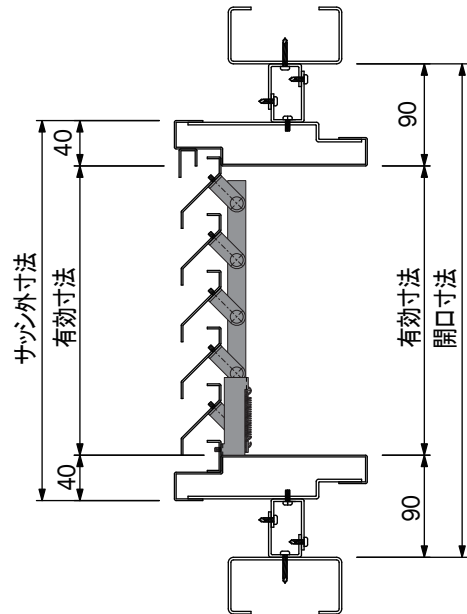
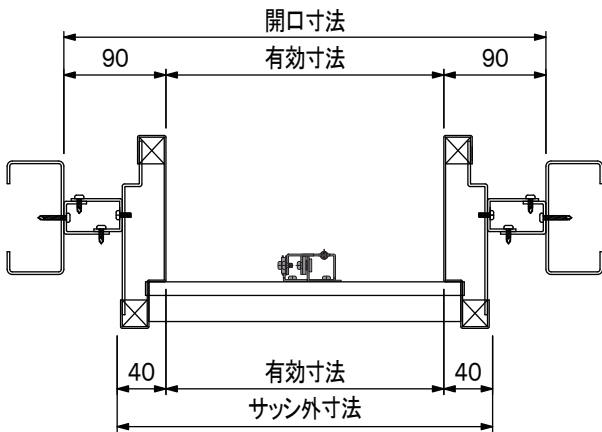
はじめに

1. 相対寸法

溶接固定

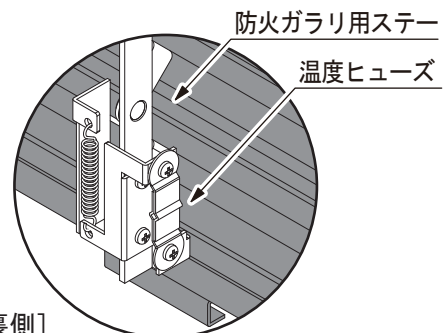


間接ネジ固定



■ 防火ガラリ用ステーについて

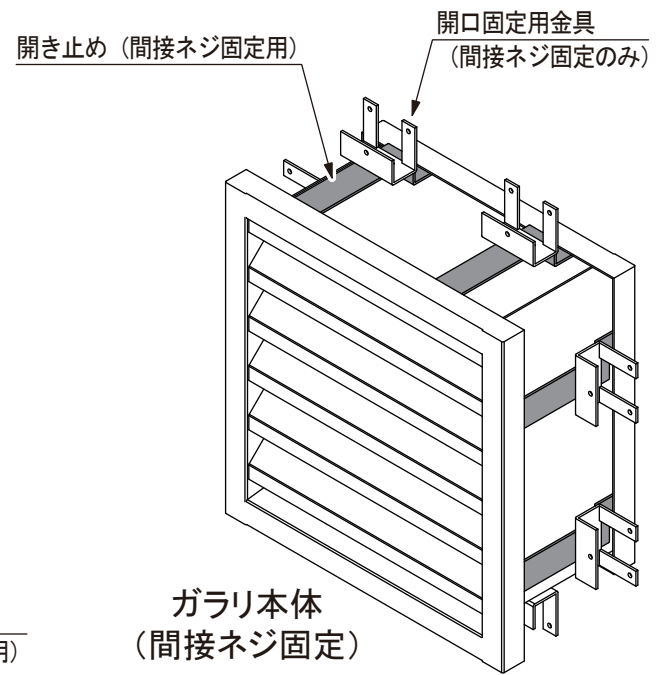
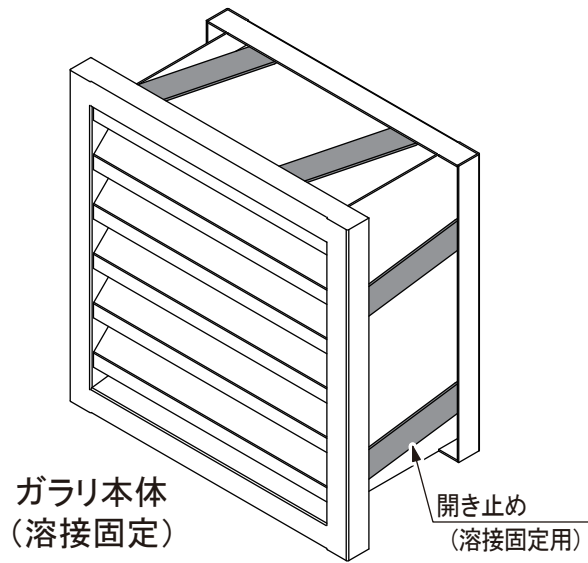
防火ガラリ用ステーは通常時からガラリの羽根に閉じる方向にテンションを掛けていますが、温度ヒューズで固定することで羽根が閉じないようにしています。火災などで一定の温度を超えると温度ヒューズが外れて羽根が閉じます。



[ガラリ裏側]

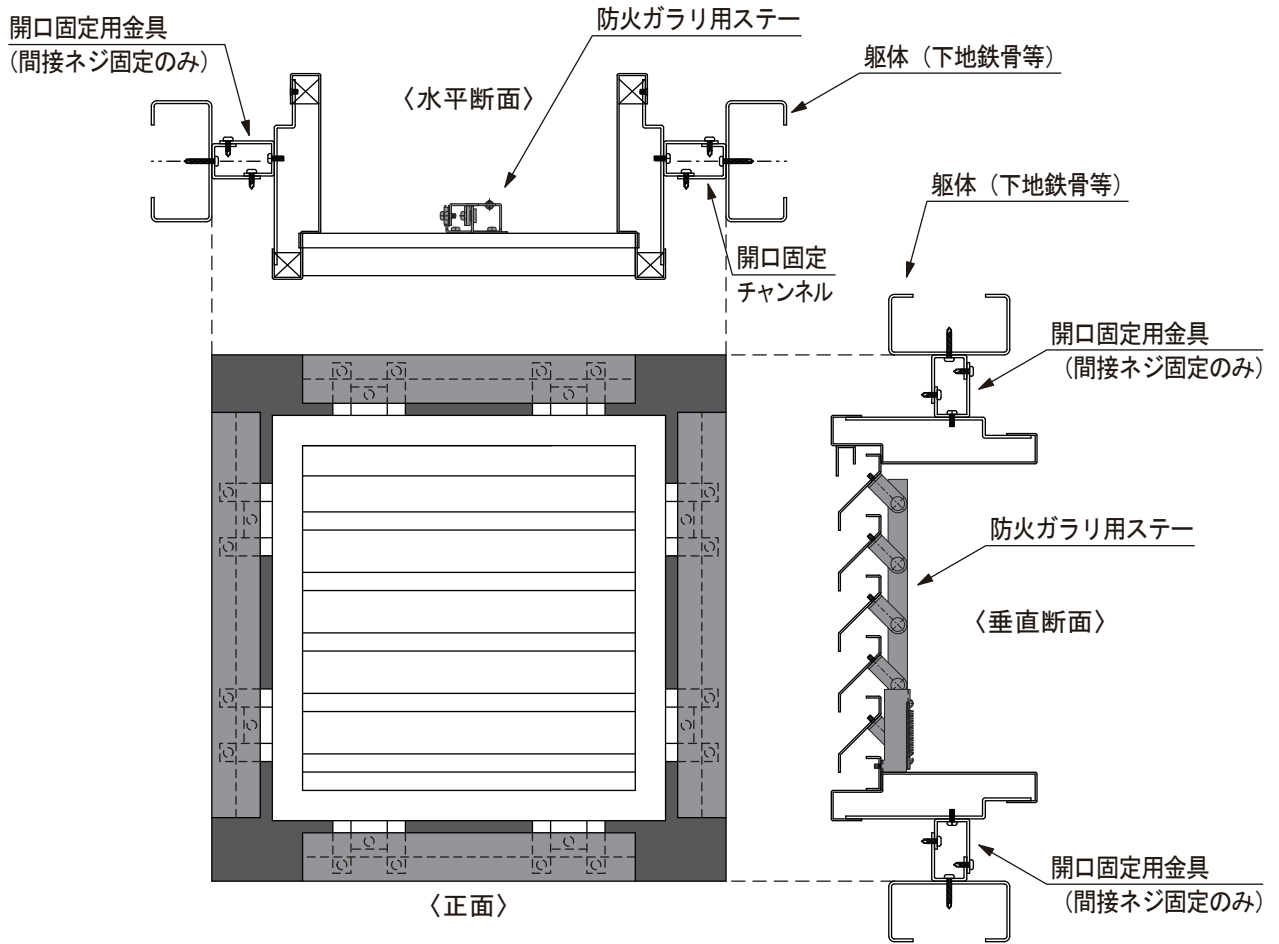
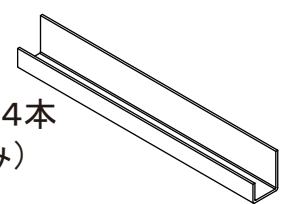
はじめに

2. 各部の名称およびセット内容



- 【ネジ類】
- ・ SUS 鍋頭ドリルネジ 4 × 25
 - ・ SUS 鍋頭ドリルネジ 4 × 16

開口固定チャンネル 4本
(間接ネジ固定のみ)

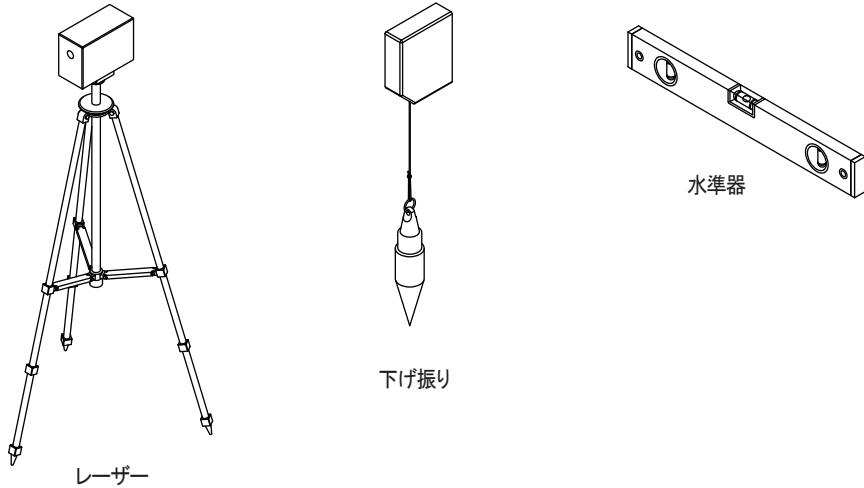


工事手順について

1. ガラリ本体の取付け（溶接固定）

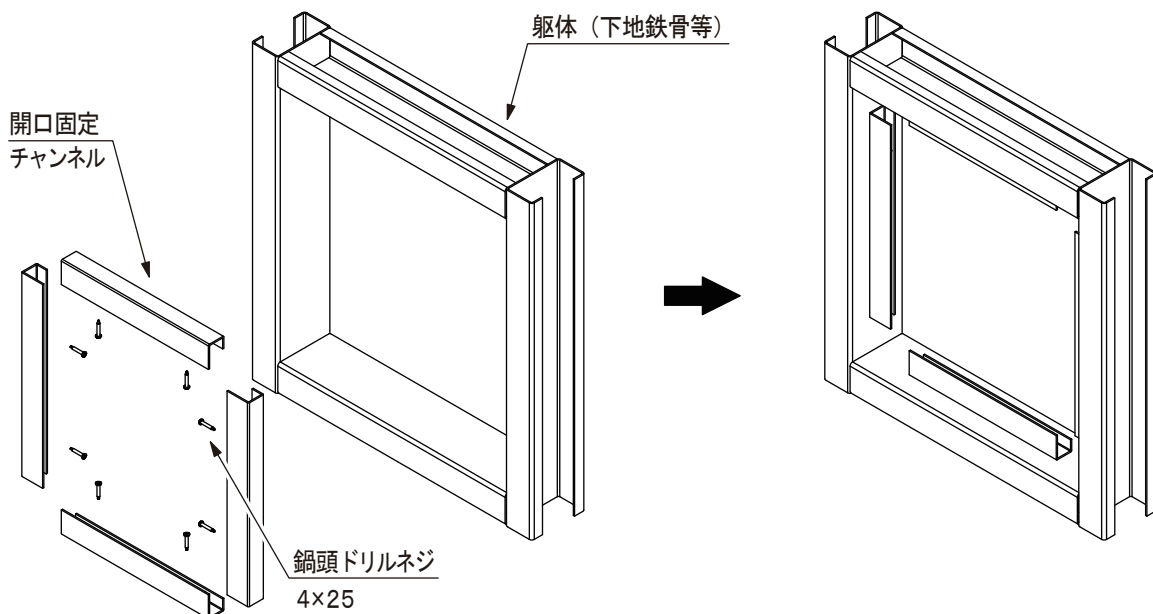
溶接固定の場合

- ・ サッシの裏側（背面）には、450mm以内のピッチで開き止めが付いています。このピッチでも足りない場合は、スチール片などを使用して付け足して頂くか、販売元へお問い合わせください。
- ・ 開口部に外枠を納め、レーザーや下げ振り、水準器などを使って前後・左右の転び、水平を調整しながら、開き止めのピッチにて溶接固定してください。



2. 開口固定チャンネルの取付け（間接ネジ固定のみ）

躯体に開口固定チャンネルを取付けてください。
あとでガラリ本体を取付ける際、不等辺チャンネルの背の低い方からガラリ本体を取付けるのでチャンネルの向きに気を付けて取付けてください。



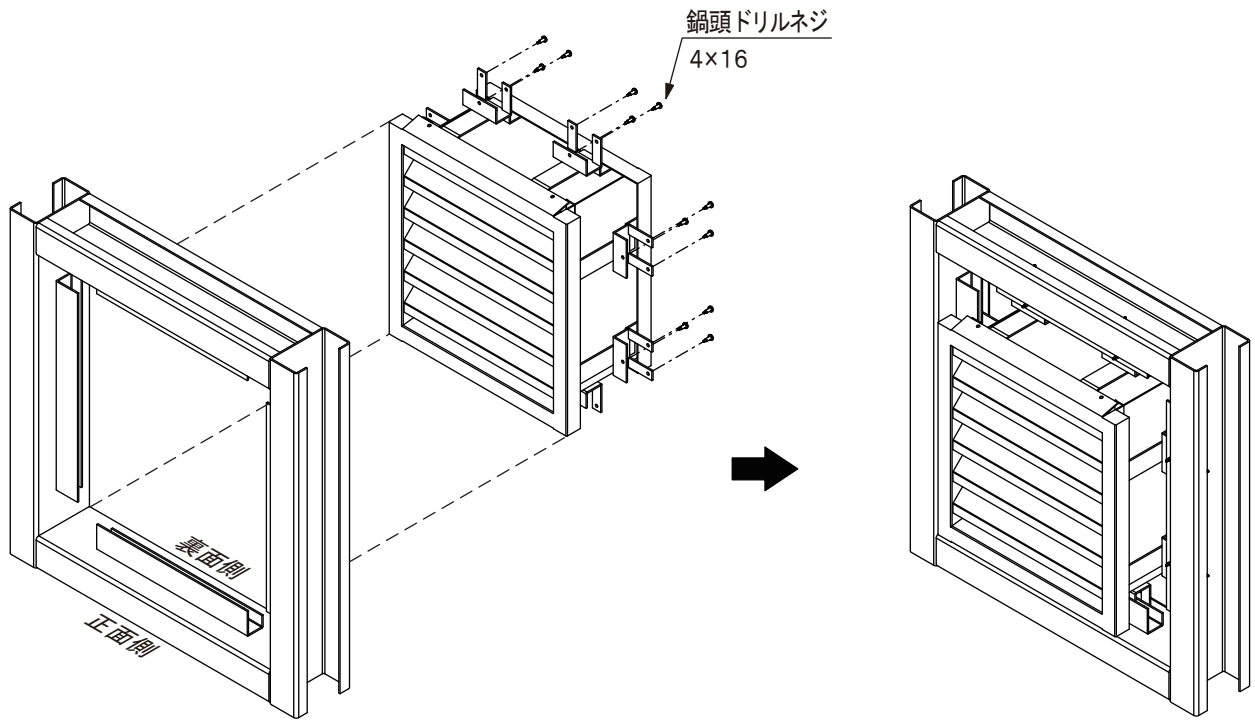
工事手順について

3. ガラリ本体の取付け（間接ネジ固定）

間接ネジ固定の場合

開口固定チャンネルにガラリ本体をを取付けてください。

ガラリ本体はチャンネルの背の低い方から取付けてください。



工事手順について

4. コーキングをする（別途工事）

下図は施工例の一例にすぎません。施工図に従って壁材を施工後にコーキングをしてください。
（別途工事の場合もあります。）

